独立行政法人農林漁業信用基金の令和６事業年度評価結果の主要な反映状況

１．役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、主務大臣による令和６事業年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、役員人事について反映させる事項はなかった。

２．役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、主務大臣による令和６事業年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、役員報酬について反映させる事項はなかった。

３．法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和６事業年度評価における主な指摘事項（注）	令和７及び８年度の運営、予算への反映状況
調達方式の適正化	再公告の必要性については、引き続き時間や労力を踏まえ柔軟に検討をしていく必要がある。	【令和７年度】 １者応札・１者応募の抑制に向けて、事前公表による入札準備期間の確保、公告期間の十分な確保、応募条件や仕様書内容の見直し、積極的な競争参加者の掘り起こしなどの取組を行ってきた。 一方、情報システム関連（勤怠管理システム）の調達について、入札者が１者であり、再公告は実施したものの、信用基金の求める履行品質を満たす業者が１者しかなかったため、時間や労力を踏まえ、再々公告は実施せず、１ 者での応札とするなど柔軟な対応を行っている。 【令和８年度】 １者応札・１者応募の抑制に向けて、令和７年度の取組を継続し、複数の応札者・応募者の確保に努めているが、１者応札・１者応募となった場合でも、契約案件の特性にも配慮しながら、再公告の実施については引き続き時間や労力を踏まえた柔軟な対応をしていく。

（注）指摘は「独立行政法人農林漁業信用基金の令和６年度に係る業務の実績に関する評価書」（財務省及び農林水産省）によるもの。